

京都でみることができる蚊（3）

衛生動物だよりでは、京都市内で採れた珍しい蚊について紹介しています。

嵐山のロックプールでハトリヤブカが採取できました

昨年5月と今年3月に嵐山のロックプール（川岸の岩場の水溜り）からボウフラを採集し、幼虫標本にするとともに、それらの幼虫を飼育し、成虫観察したところ、いずれもよくみられるヤマトヤブカでした。

過去（1960年）の調査ではロックプールからはハトリヤブカが採集できるはずなので、今年4月に3回目の調査を行ったところ、遂にハトリヤブカが採集できました。



ボウフラを採集したロックプール

ハトリヤブカ幼虫の特徴

ハトリヤブカ幼虫の特徴について、日本環境衛生センター発行の「衛生動物検査指針」の図式検索表に準じて観察してみると、以前の衛生動物だよりで紹介したヤマトヤブカの特徴とほぼ同じです。最終的にヤマトヤブカとハトリヤブカの幼虫の違いは、呼吸管にある呼吸管棘と呼吸管毛の位置です。ヤマトヤブカの呼吸管棘は呼吸管毛の先にも生えていますが、ハトリヤブカの呼吸管棘は呼吸管毛の先には生えていません。

ハトリヤブカとヤマトヤブカの共通する特徴

- 呼吸管毛は1対
- 側鱗は20個以上あり数列に並ぶ
- 尾葉は鞍版よりほかに長い



ハトリヤブカ雄成虫

ハトリヤブカ成虫の特徴

成虫になると胸背部に模様ができます。ヤマトヤブカに似ていますがハトリヤブカは胸背中央に2本、ヤマトヤブカは1本の黄白線があります。また、跗節には白帯があり、後脚第5跗節は白い（ヤマトヤブカの第5跗節は黒い）のが特徴です。

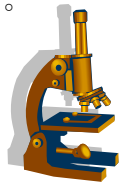


ハトリヤブカ



ヤマトヤブカ

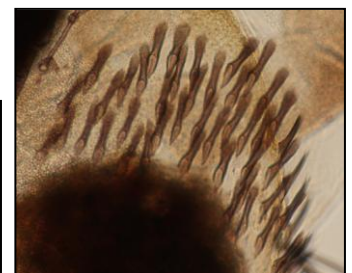
ハトリヤブカの幼虫は日当たり、風通しのよい開けたロックプールから見出されています。幼虫ないし卵で越冬し、実験室内ではマウスなどを昼間吸血しますが、人の吸血例は欠くそうです。



呼吸管毛



後脚は各節部に白帯があり、末端部は白い



側鱗の拡大図